

MENU

- 1 会長ごあいさつ p1
- 2 活動のご報告 p3
- 3 PORT TOPICS p5
- 4 事務局より p6



4月25日(金)、
アジアの就航客船では最大の“Voyager of the Seas”
(総トン数 137,276t、全長 311.1m) が名古屋港に初入港しました。

会長ごあいさつ

日本港湾経済学会中部部会
会長 林 上



2014年度の日本港湾経済学会中部部会の総会と研究報告会を開催できたことを、大変嬉しく思います。今回は、「クルーズ客船による経済波及効果」「コンテナターミナルの港湾内の競争」「名古屋港の輸出に関する分析」が、それぞれ報告されました。予定討論者によるコメントも含めて、ほぼスケジュール通りに会は進行し、充実した時間をもつことができました。例年のように、日本港湾経済学会本部から吉岡会長にもご出席いただき、学会本部と中部部会との交流を深めることもできました。ご多忙中にもかかわらず、総会・研究報告会にご参加頂きました皆様方に、あらためてお礼を申し述べたいと思います。

さて、今回の三つの研究報告は、いずれも「競争」という共通のキーワードをもっていたように思います。第一報告では、近年、日本でも盛んになってきた大型客船によるクルーズが取り上げられ、国内の主要港が寄港回数を競っている実態が報告されました。名古屋港は現時点では寄港実績はまだ十分とはいえませんが、後背地の魅力がクルーズ寄港に結びつくよう知恵を出し合う必要があります。貨物の輸出入とは少し次元を異にするテーマでもあるため、発想を転換して考えなければいけないようにも思われます。

(次ページへ続きます)

(前ページからの続き)

二番目の報告は、広域港湾内にある異なるコンテナターミナル相互の競争を扱った理論的研究でした。競争的状态の中で主体が行動する場合、競争相手の動き方をあらかじめ予測して行動する必要があります。相手をゲームのライバルと見なし、いかに行動すれば勝算があるか、つねに考えなければなりません。ゲーム理論は経済学ばかりでなく、他の学問分野でも幅広く研究が行われています。単なる勘や見込みに頼るのではなく、理論的に想定される結果を手がかりに考えるというアプローチには、合理性があると思われれます。

第三報告の名古屋港からの輸出に関する分析も、中国や韓国といった競争相手を想定した研究でした。日本の製造業の多くが海外に生産拠点を移している現在、国内からの輸出は加工貿易時代の輸出とは違います。為替レートの変動要因も考慮する必要があるため、状況はより複雑になります。とくに工業生産能力が高まっている韓国とは、海外市場で競争する場面が多いため、為替の動きが輸出に与える影響は小さくないと考えられます。競争は台湾、アセアンなど韓国、中国以外の国々との間にもあり、まさにグローバルな競争状態のもとで輸出が行われているのです。

資本主義経済は市場主義経済であり、今日では地球的スケールで広がる市場を対象に生産・流通・販売が行われています。生産者は先進国のみならず新興工業国にもあり、消費者も途上国の経済発展・所得増加にともない拡大の一途をたどっています。こうした状況のもとにおいて、港湾は輸出と輸入の二つの機能を同時に果たしています。マーケットシェアを確保しようと努力する企業をサポートする一方、豊かな生活を望む消費者の支援も行っています。日本の場合、豊かな生活を維持するには、そのために必要な経済的富を海外との貿易で得なければなりません。競争こそがより良い社会への原動力であることを考えると、港湾もそのための重要なインフラとして、たえず自己変革に取り組んでいく必要があるように思われれます。

2014年9月



6月5日(木)、名古屋港に
日本初のポストパナマックス型自動車専用船「アリエス・リーダー」が入港しました。

活動のご報告

平成 26 年度 中部部会総会及び研究報告会

平成 26 年度 日本港湾経済学会中部部会 総会及び研究報告会を
平成 26 年 8 月 13 日（水）に名古屋港湾会館にて開催いたしました。

開会の辞・挨拶

総会及び研究報告会の開催に先立ち、林会長よりご挨拶を申し上げるとともに、日本港湾経済学会本部より、今年度より会長に就任された高崎商科大の吉岡秀輝様にご臨席賜り、ご挨拶のお言葉をいただきました。



開会の辞【林会長】



挨拶【吉岡会長】

研究報告会

研究報告会では、大島俊一氏（中部大学）による司会進行のもと、下記の方よりご報告をいただきました。

- ① 水野英雄 氏（椋山女学園大学）
「中部地域の観光産業における名古屋港の役割－クルーズ客船による経済波及効果－」
- ② 松本昭夫 氏（中央大学） 中山恵子 氏（中京大学）
「コンテナターミナルの港湾内複占競争（Intra-Seaport Competition between *à la* Cournot Terminal Operators）」
- ③ 森川浩一郎 氏（近畿大学）
「具体的な競争相手を想定した名古屋港の輸出に関する分析」

また、それぞれの報告について予定討論者の渡邊悌爾氏、白井正敏氏、内藤能房氏との活発な意見交換が行われました。



研究報告会の様子



司会の大島俊一 氏



水野 英雄 氏



松本 昭夫 氏



森川 浩一郎 氏

総 会

総会では、以下の議事について審議をし、すべて議案どおり承認いたしました。

議事 1：平成 25 年度事業報告、決算及び監査報告について

議事 2：平成 26 年度事業計画及び予算について

懇 親 会

総会及び研究報告会終了後、名古屋港湾会館にて懇親会を開催いたしました。

林上会長の挨拶に続き、功労会員である眞継隆氏の乾杯の音頭により懇親会が始まりました。今回は特別企画として、名古屋港のPR映像“Leading Port～名古屋港のつなげる力”のプロジェクター上映をさせていただきました。

法人会員・個人会員の皆様をはじめとして25名の方にご参加いただき、盛況のうちに終わることができました。



眞継隆 氏による乾杯



懇親会の様子

PORT TOPICS

名古屋港最新情報

名古屋港管理組合 facebook ページ開設

8月より、名古屋港管理組合のfacebook ページを開設しました。名古屋港の最新情報をリアルタイムでアップしていますので、facebook アカウントをお持ちの方はぜひ「いいね！」をお願いいたします。(アカウントをお持ちでなくてもアクセスできます)

名古屋港管理組合 facebook ページ URL
<https://www.facebook.com/port.of.nagoya>



客船「飛鳥Ⅱ」船内見学会の募集

客船「飛鳥Ⅱ」の船内見学会を、客船運航会社の協力のもと、以下のとおり実施いたします。

日時：平成26年10月18日(土) 午後1時～午後2時

場所：名古屋港ガーデンふ頭3号岸壁

募集：100名(※ 応募者多数の場合は抽選)

締切：平成26年9月26日(金) 必着



10月29日(水)には、客船「にっぽん丸」の船内見学会も実施される予定です。詳細はどちらも、名古屋港のホームページ (<http://www.port-of-nagoya.jp/>) をご覧下さい。

中川運河体験乗船の参加者募集

中川運河の再生に向け、水上交通のネットワーク化をめざしています。そこで、リニア・鉄道館及びあおなみ線とタイアップした体験乗船を開催します。ぜひ、この機会に名古屋のまちを船で巡ってみませんか。

開催日：平成26年11月2日(日)、9日(日)

募集人員：各便25名 計100名(事前申し込み制、申込多数の場合は抽選)

料金：大人2,000円(中学生以上)、子ども1,000円(小学生)、未就学児無料

締切：平成26年10月8日(水)消印有効

詳細は、名古屋港のホームページ (<http://www.port-of-nagoya.jp/>) をご覧下さい。

事務局からのお知らせ

個人会費納入のおねがい

法人会員の皆様におかれましては、今年度の年会費を納入して頂きありがとうございました。個人会員の方で、まだ、今年度の会費の納入がお済みでない方は、会費の納入をお願い申し上げます。

つきましては、個人会員会費の納入を、お手数ですが以下どちらかの指定口座まで請求金額をご確認の上、9月末までにお振込み頂きますようお願い申し上げます。

※個人会員会費は年額1,000円となっておりますが、納付状況により請求金額が異なりますので、必ず、請求書をご確認ください。

【振込先①】

三菱東京UFJ銀行
名古屋港支店（店番号292）
普通預金 口座番号 0633227
日本港湾経済学会 中部部会

【振込先②】

ゆうちょ銀行
記号 12160
番号 44997141
日本港湾経済学会 中部部会

学会本部ホームページが新しくなりました

日本港湾経済学会（本部）ホームページが新しくなりURLが変更されました。

日本港湾経済学会ホームページ URL <http://port-economics.jp/>

先日9月3～5日に開催されました第53回全国大会（三河港・愛知大学）の様もアップされています。ぜひアクセスしてご覧ください。

日本港湾経済学会中部部会ニュースレターに関するご意見、ご要望、ご提案、お問合せがございましたら、事務局までご連絡ください。

配信停止を希望される場合は、お手数ですが配信停止の旨を右記までご連絡ください。

■ 日本港湾経済学会中部部会 事務局 ■

名古屋港管理組合 企画調整室 企画担当内

すえとみ
担当:神野、末 富

〒455-0033 名古屋市港区港町1番11号

TEL:052-654-7968 FAX:052-654-7997

E-mail: suetomi@union.nagoyako.lg.jp

日本港湾経済学会中部部会ホームページ URL : <http://www.portecon-chubu.com>

名古屋港管理組合ホームページ URL : <http://www.port-of-nagoya.jp>